

否定副詞ケッシテとカナラズシモの意味分析 全部否定と部分否定の間

杉 村 泰

1. はじめに

本稿は日本語の否定副詞「ケッシテ」と「カナラズシモ」の違いについて論じたものである。森田（1989）をはじめ、先行研究では一般に「ケッシテ」は全部否定を表し、「カナラズシモ」は部分否定を表すとされている。¹⁾たしかに、(1a)ではあの人の話が嘘である可能性が百パーセント否定されているのに対し、(1b)では嘘である可能性と嘘でない可能性が共に残されている。(1a)と(1b)はあの人の話が嘘である可能性を残すか残さないかという点で対立している。

- (1) a. あの人の話はケッシテ嘘ではない。
- b. あの人の話はカナラズシモ嘘ではない。

ところが、(2a)と(2b)にはこうした意味の違いは感じられない。(2a)も(2b)も古田選手が体調を崩していたことを述べており、体調が万全であった可能性は百パーセント否定されている。

- (2) a. 日本シリーズの古田選手の体調はケッシテ万全ではなかった。
- b. 日本シリーズの古田選手の体調はカナラズシモ万全ではなかった。

一方、(3a)と(3b)は大学を出れば一流企業に就職できるかどうかということについて、就職できることもあれば就職できないこともあると述べている。これも(1a)と(1b)のような意味の違いは感じられない。

- (3) a. 大学を出たからといってケッシテ一流企業に就職できるとは限らない。
- b. 大学を出たからといってカナラズシモ一流企業に就職できるとは限らない。

このように「ケッシテ」と「カナラズシモ」は、全部否定、部分否定のどちらを表す文にも使われることが分かる。先行研究でも、飛田・浅田（1994）のように「ケッシテ」

が部分否定を表すことがあると明記しているものもある。

この点について、本稿では基本的に「ケッシテ」は全部否定を表し、「カナラズシモ」は部分否定を表すと考える。以下、これらがどのようにして互いの表現と意味的に近接するのかについて論じていく。

2. 「ケッシテ」と全部否定・部分否定

本節では飛田・浅田(1994)の記述をもとに、「ケッシテ」が全部否定を表すのか部分否定を表すのかについて検討する。

次の例文からも分かるように、「ケッシテ」は一般に全部否定を表す。(4)において北朝鮮が統一問題を武力で解決する意図を持っていたり南進する恐れのあること、(5)においてイギリスの男が妻の悪口をいうこと、(6)においてロッキード事件が虚構である可能性は、百パーセント否定されている。

- (4) そのころから金日成は「共和国はけっして統一問題を武力で解決する意図はない。けっして南進しない」とくり返し言明するようになった。(萩原遼『ソウルと平壤』)
- (5) イギリスでは男が妻の悪口をいうことは決してないというのだ。イギリスの男はこのような場合、嘘を貫かなくてはならないのである。(土屋賢二『われ大いに笑う、ゆえにわれ笑う』)
- (6) 松田が「ロッキード事件は決して虚構ではない」と確信したのは、この返事を聞いたときだった。(魚住昭『特捜検察』)

一方、飛田・浅田(1994)は「ケッシテ」と「ゼツタイニ」を比較し、「「けっして」はある前提を踏まえてなお強く打ち消すニュアンスがあり、しばしば条件付きの否定や部分否定になることがある」(p.215)として、次の例を引き合いに「ケッシテ」は部分否定を表し、「ゼツタイニ」は全部否定を表すと説明した。²⁾

- (7) a. 決して美人ではない。(美人とは言い切れない)
b. 絶対に美人ではない。(不美人である)
- (8) a. 決してやさしくない。(やさしいとは言い切れない)
b. 絶対にやさしくない。(むずかしい)

たしかに、これらの文を見る限り「ケッシテ」は部分否定を表すように感じられる。

しかし、そうすると今度は「ケッシテ」と「カナラズシモ」の区別が必要になる。次の(7c)(8c)において「カナラズシモ」は部分否定を表しており、「美人である」可能性や「やさしい」可能性を残した表現となっている。

(7) c. カナラズシモ美人ではない。(美人とは言い切れない)

(8) c. カナラズシモやさしくない。(やさしいとは言い切れない)

そもそも、飛田・浅田(1994)のように「ケッシテ」が全部否定になることもあれば、部分否定になることもあるとする説明は分かりにくい。どのような場合に全部否定となり、どのような場合に部分否定となるかまで説明しなければ、説明したことにはならない。そこでもう一度「ケッシテ」の使われる文脈を見てみると、たしかに「ケッシテ」は(9a)(10a)のように全部否定を表す場合にも、(9b)(10b)のように部分否定を表す場合にも使われる。

(9) a. あの人はケッシテ美人ではない。むしろ不美人の方である。

b. あの人はケッシテ美人ではない。しかし、とてもかわいい顔をしている。

(10) a. この問題はケッシテやさしくない。むしろ非常に難しい。

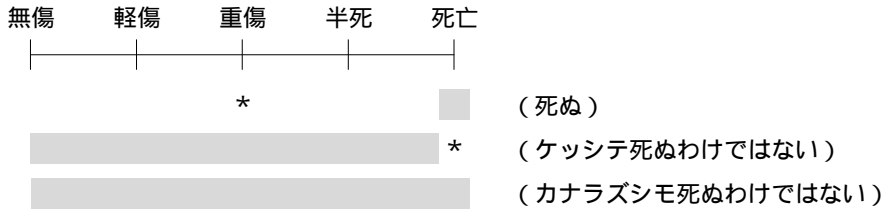
b. この問題はケッシテやさしくない。しかし、少し考えればできる。

前者の場合、「美しさ」のかけら、「やさしさ」のかけらが微塵もないことを述べているため、「ケッシテ」が全部否定を表していることは明らかである。一方、後者の場合は注意が必要である。これらの文は「美しさ」のかけら、「やさしさ」のかけらが残されているという意味では、部分否定を表していると言える。しかし、ここで話し手が言おうとしているのは、(11)(12)のような内容である。これらの文において「ケッシテ」は、「完璧な美人」であることや「小学生でもできるほどやさしい」ことを百パーセント否定している。したがって、この場合にも「ケッシテ」自体は全部否定を表していると考えられる。

(11) あの人はケッシテ完璧な美人ではない。

(12) この問題はケッシテ小学生でもできるほどやさしくない。

(11)(12)において、美人かどうか、やさしいかどうかということについては、場合によって全部否定になることもあれば、部分否定になることもある。しかし、完璧な美人かどうか、小学生でもできるほどやさしいかどうかという点については、常に全部否



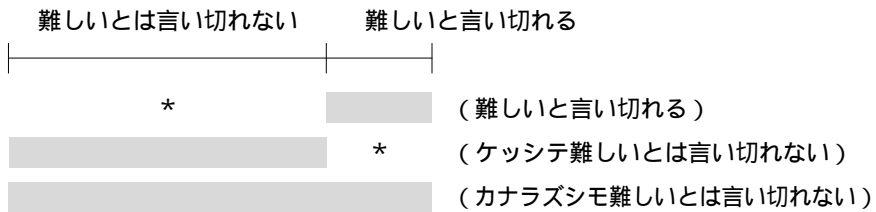
これらの文において、微積分が難しいかどうか、あの人が死ぬかどうかということは、話し手にとって重要な事柄である。こうした場合、「ケッシテ」と「カナラズシモ」を入れ替えて使うことはできない。

3.2 「ケッシテ」が「カナラズシモ」に近接する例

一方、次のような場合には「ケッシテ」と「カナラズシモ」を入れ替えても、さほど意味の違いが感じられない。

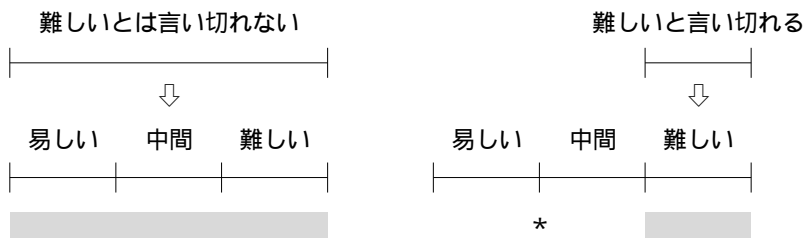
- (15) a. 微積分はケッシテ難しいとは言い切れない。
- b. 微積分はカナラズシモ難しいとは言い切れない。

(15)においても先の(13)(14)と同様に、「ケッシテ」は全部否定を表し、「カナラズシモ」は部分否定を表すと考えられる。そのため、話し手の発話意図が「微積分は難しいと言い切れるかどうか」という点にある場合には、「ケッシテ」を使うか「カナラズシモ」を使うかによって意味に違いが出る。



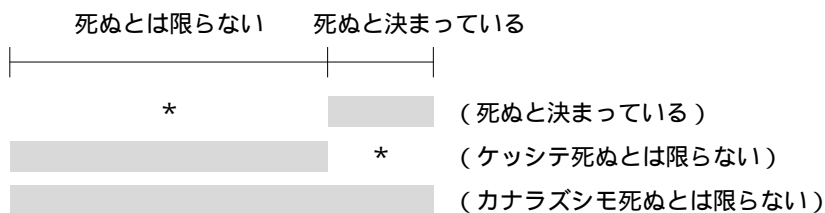
しかし、話し手の発話意図が「微積分は難しいかどうか」という点にある場合には、「ケッシテ」を使っても「カナラズシモ」を使っても、あまり大きな意味の違いは出てこない。なぜならば、「難しいとは言い切れない」という表現はこれ自体が部分否定の意味を持っており、「難しい場合」、「中間の場合」、「易しい場合」の全てを含むからである。そのため、「ケッシテ難しいとは言い切れない」という表現は、結局難しさのスケール上の全ての範囲を覆うことになる。一方、「カナラズシモ難しいとは言い切れない」という

表現は、難しいと言い切れる場合と言い切れない場合の両方の可能性を認めている。前者の場合は「難しい」可能性しか認めていないが、後者の場合は「難しい」、「中間」、「易しい」の全ての可能性が認められている。そのため、結局これも難しさのスケール上の全ての範囲を覆うことになる。

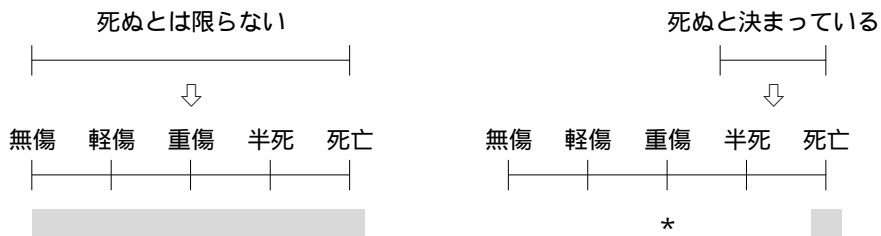


同様に(16)においても、話し手の発話意図が「あの人が死ぬと決まっているかどうか」という点にある場合には、「ケッシテ」を使うか「カナラズシモ」を使うかによって意味に違いが出る。

- (16) a. あの人はケッシテ死ぬとは限らない。
- b. あの人はカナラズシモ死ぬとは限らない。



しかし、話し手の発話意図が「あの人が死ぬかどうか」という点にある場合には、「ケッシテ」を使っても「カナラズシモ」を使っても、あまり大きな意味の違いは出てこない。いずれにせよ生死のスケール上の全ての範囲を覆うからである。



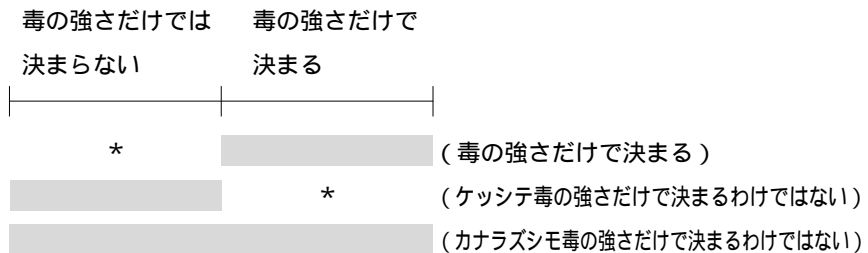
以上、「ケッシテAとは言い切れない」、「ケッシテAとは限らない」のような表現において、話し手の発話意図が「Aかどうか」を述べることにある場合には、「ケッシテ」が「カナラズシモ」に近接することが明らかとなった。³⁾最初に挙げた(3a)と(3b)についても同様に説明できる。

3.3 「カナラズシモ」が「ケッシテ」に近接する例

一方、次の例の場合には、上とは反対に「カナラズシモ」が「ケッシテ」に近接する。(17a)と(17b)において、話し手はいずれの場合にも「毒蛇の危険度は毒の強さだけで決まる」という可能性を認めていない。

- (17) a. 毒蛇の危険度は、ケッシテ、毒の強さだけで決まるわけではなく、毒の量と毒牙の長さ、攻撃性や敏捷性も考慮しなくてはならない。
- b. 毒蛇の危険度は、必ずしも、毒の強さだけで決まるわけではなく、毒の量と毒牙の長さ、攻撃性や敏捷性も考慮しなくてはならない。(貴志裕介『クリムゾンの迷宮』)

(17a)と(17b)を先のような図で示すと下のようになる。これを見る限り、「ケッシテ毒の強さだけで決まるわけではない」が毒の強さだけで決まる可能性を百パーセント否定しているのに対し、「カナラズシモ毒の強さだけで決まるわけではない」は毒の強さだけで決まる可能性を残しているはずである。しかし、上の(17b)の意味するところは、毒蛇の危険度は「毒の強さ」だけでなく、「毒の量」、「毒牙の長さ」、「攻撃性」、「敏捷性」の全てが関わるということである。



こうした用法は、「カナラズシモ」が部分否定を表すことから派生してできた用法であると考えられる。たとえば、(18a)のように複数の人物の体調について述べた文の場合、ヤクルトには体調の万全な選手もいればそうでない選手もいるという意味で解釈されるのが普通である。⁴⁾これはこの文が「カナラズシモ全員が万全ではなかった」の意味で解

積されるからである。ここで「カナラズシモ」は「全員」を修飾し、それを部分否定することにより、一部の選手だけが万全であったことを表す。一方、(18b)のように個人の体調について述べた文の場合、その選手の体調に一部異常があるという意味で解釈される。これはこの文が「カナラズシモ100パーセント万全ではなかった」の意味で解釈されるからである。この場合「カナラズシモ」は「100パーセント万全である」を限定し、それを部分否定することにより、体調に一部異常があったことを表す。

- (18) a. 日本シリーズのヤクルトの選手の体調はカナラズシモ万全ではなかった。
b. 日本シリーズの古田選手の体調はカナラズシモ万全ではなかった。 = (2b)

(18b)は「ケッシテ」を使った否定に比べ婉曲的で柔らかな印象を与える。そのため、はっきり否定するのを避ける場合や、はっきり否定するほどではない場合に効果的に使うことができる。先の(17b)の場合、毒の強さは毒蛇の危険度にとって重要な要素には違いない。そのため、「ケッシテ」によってはっきり否定するのを避け、「カナラズシモ」によって婉曲的に否定したものと考えられる。

同様に(19)においても、書き手は「故国の空気は大久保にとって面白いものであった」可能性はないと考えている。この場合「カナラズシモ」を「ケッシテ」に置き換えても内容にさほど変化はない。これも「ケッシテ」を使って強い否定表現となるのを避けた表現であると考えられる。

- (19) a. 五月、大久保は、富国強兵、殖産興業の理想に燃えて帰国したが、故国の空気は、彼にとって必ずしも面白いものでなかった。(毛利敏彦『大久保利通』)
b. 五月、大久保は、富国強兵、殖産興業の理想に燃えて帰国したが、故国の空気は、彼にとってケッシテ面白いものでなかった。

以上のように、当該の事態が不成立であることが分かっている場合であっても、はっきり否定するのを避けるために「カナラズシモ」を使って婉曲的で柔らかな否定をすることができる。この場合、「カナラズシモ」は「ケッシテ」に置き換えてもさほど意味に変化はない。⁵⁾

4. まとめ

以上、本稿では否定副詞「ケッシテ」と「カナラズシモ」の違いについて論じた。その結果をまとめると次のようになる。

基本的に「ケッシテ」は全部否定を表し、「カナラズシモ」は部分否定を表す。

「ケッシテAとは言い切れない」、「ケッシテAとは限らない」のような表現において、話し手の発話意図が「Aかどうか」を述べることにある場合には、「ケッシテ」が「カナラズシモ」に近接する。

当該の事態が不成立であることが分かっている場合であっても、はっきり否定するのを避けるために「カナラズシモ」を使って婉曲的で柔らかい否定をすることができる。この場合、「カナラズシモ」が「ケッシテ」に近接する。

最後に、「カナラズシモ」が普通の叙述文にしか使えないのに対し、「ケッシテ」は叙述文以外に、意志文、命令文（禁止文）などにも使えるということを指摘しておく。

- (20) a. あの人はケッシテ死ぬわけではない。(叙述文)
 b. あの人はカナラズシモ死ぬわけではない。(叙述文)
- (21) a. 私はケッシテ死なない。(意志文)
 b. *私はカナラズシモ死なない。(意志文)
- (22) a. ケッシテ死ぬな。(命令文)
 b. *カナラズシモ死ぬな。(命令文)

このように、両者は単なる全部否定と部分否定の違いではないことが分かる。こうした点については従来あまり議論されていない。本稿では全部否定と部分否定という観点から考察したが、今後はこうした点についても考えていく必要がある。

注

- 1) 森田(1989)は「カナラズシモ」と「ケッシテ」の違いについて、次のように記述している。
 (引用注: 「必ずしも」は)すべてがそうでないという全体否定ではなく“百パーセントそうだとはかぎらない、例外も間々ある”という部分否定である。したがって、「絶対に……ではない」「決して……ではない」とは大きな差がある。
 「彼の英会話は必ずしも上手とは言えない」「決して上手ではない」
 では、前者が“多少下手なところもある”と言っているのに対し、後者は“普通、もしくは、下手だ”である。(森田1989: 333)
- 2) 「ケッシテ」と「ゼツタイニ」の違いについては杉村(2001)で論じた。
- 3) インターネットによる実例では、「ケッシテ」と「カナラズシモ」を連用した例が6つ見つかった。これらは部分否定を表す文脈で使われており、「ケッシテ」が「カナラズシモ」に近接している。
 (i) TRPGはコンピュータRPGとどう違うのか?それはコンピュータを使わず、人と人の会話で物語を追体験していく過程を楽しむゲームだということです。決して必ずしも演技等

が必要ではなく、与えられた状況をどのように、目標のために解決していくか頭を使う知的な趣味と言えます。(<http://www.trpg.net/TRPGNEWS/whatstrpg.html>)

(ii) 参考文献に挙げた伊田氏は著書『シングル単位の社会論』のなかでこう言っている。「つまり、私たちの家族関係への思い込みは資本主義と結びついたある種の幻想であり、永遠の普遍的心理などではないということが、徐々に明らかにされていく過程に今現在の私たちはいるのだ。家族でなくても愛情を得られるし、家族は決して必ずしも安らぎや愛情の場ではない。」と。(<http://www.sfc.keio.ac.jp/t99523yn/pm/31.html>)

(iii) 実は ギターを弾いたことのない人には解らないのだがギターは育てるのに実に時間がかかる。育て方によって、いい子になったり不良になったり。決して必ずしもいい子がよい訳ではない。とにかく、成長する楽器なのである。(<http://sv.mcity.ne.jp/diary/3518/index3.html>)

(iv) 「現場は情報の宝庫」と言います。「問題は現場に現れる」とも言います。我々コンサルタントも身につまされるお話でした。ただ、もう一つ言うならば、その現場の問題をいかに会社全体の戦略と関係させるかと言うことであると考えます。部分最適は決して必ずしも全体最適ではありませんから。(<http://www.herbist.co.jp/column/column200010.htm>)

(v) 私は、やっぱり地球というのは本当に狭くなったな、限界があるんだなという感じがしたんですが、それから少し前のころ、エントロピーなんていう方法論が考え出されて、決して地球も宇宙も無限ではない、決して必ずしも循環しないという、つまり滅びるものはやがて滅びるんだという宇宙の原理が、存在の原理が新しく私たちの中に認識として取り込まれて、そういう歴史の大きな曲がり角に私たちは本気で環境の問題を考えませんと、かつて私は環境庁の大臣を最初の閣僚でやりましたが、あのときは、加害者、被害者が割とはっきりしていました。(http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/soumu/koho/tudoj_02.htm)

(vi) 今回の場合は、都の場合もそうですし、国際連合の場合もそうですが、ヒューマンライツという概念は、ある意味では、だれも文句を言えない、錦の御旗です。特に、冷戦以後はそうだと思います。ただ、歴史的に追跡してみると、これ自体、必ずしも決してすばらしいという意味だけではないのであります。

(<http://www.metro.tokyo.jp/INET/KONDAN/1999/03/4093F700.HTM>)

4) 文脈によってはヤクルトの選手全員が体調を崩していたことも表す。その場合は(18b)に準じて説明できる。

5) ただし、いかなる場合にも置き換えが可能なわけではない。この点についてさらに考察する必要がある。

参考文献

杉村 泰 (2001) 「否定副詞ケツシテの意味分析」『言語文化論集』23-2, 名古屋大学言語文化部・国際言語文化研究科, pp. 71-86.

飛田良文・浅田秀子 (1994) 『現代副詞用法辞典』, 東京堂出版.

森田良行 (1989) 『基礎日本語辞典』, 角川書店.

例文の出典

魚住昭『特捜検察』岩波新書／貴志裕介『クリムゾンの迷宮』角川ホラー文庫／土屋賢二『われ大いに笑う、ゆえにわれ笑う』文春文庫／萩原遼『ソウルと平壤』文春文庫／毛利敏彦『大久保利通』中公新書